

建盞

永青文庫

玳玻盞

サンリツ服部美術館

玳玻盞

京都国立博物館

玳玻盞

東京国立博物館

玳玻盞

MOA美術館

玳玻盞 鷺天目

三井記念美術館

玳玻盞

京都国立博物館

木葉天目

五島美術館

木葉天目

大阪市立東洋陶磁美術館

青磁輪花茶碗 銘馬蝗絆

東京国立博物館

青磁茶碗 銘滿月

藤田美術館

青磁茶碗 銘雨龍

鹿苑寺

黒釉金彩文字天目

五島美術館

油滴天目

根津美術館

油滴天目

静嘉堂文庫美術館

曜変天目

M I H O M U S E U M

曜變天目（油滴天目）

根津美術館

第一二章

茶の湯の展開と

## 唐物の評価の変化

室町時代後期から桃山時代

108

第三章

江戸時代に

## おける 唐物茶碗

148

第一三章

茶の湯の展開と

## 唐物の評価の変化

108

灰被天目 銘夕陽

沼田天目

灰被天目 銘虹 国（文化庁保管）

永青文庫

黄天目 珠光天目

出光美術館

珠光青磁茶碗

香雪美術館

人形手宝尽文茶碗

出光美術館

人形手茶碗

香雪美術館

青磁細蓮弁文碗

出光美術館

染付唐草文茶碗

徳川美術館

第一章

唐物の莊厳の世界

8

油滴天目

龍光院

曜変天目

藤田美術館

曜變天目（油滴天目）

静嘉堂文庫美術館

油滴天目

M I H O M U S E U M

曜變天目（曜變天目）

徳川美術館

油滴天目

根津美術館

曜變天目（油滴天目）

静嘉堂文庫美術館

曜變天目（曜變天目）

M I H O M U S E U M

曜變天目（曜變天目）

根津美術館

曜變天目（曜變天目）

静嘉堂文庫美術館

曜變天目（曜變天目）

M I H O M U S E U M

曜變天目（曜變天目）

根津美術館

曜變天目（曜變天目）

静嘉堂文庫美術館

曜變天目（曜變天目）

M I H O M U S E U M

曜變天目（曜變天目）

根津美術館

曜變天目（曜變天目）

静嘉堂文庫美術館

曜變天目（曜變天目）

M I H O M U S E U M

曜變天目（曜變天目）

根津美術館

46

建盞（灰被天目） 德川美術館

絵高麗唐花文茶碗 根津美術館

絵高麗梅鉢文茶碗 五島美術館

呉州染付草花文茶碗 銘橘 出光美術館

呉州染付橘文茶碗 金沢市立中村記念美術館

呉州染付山水茶碗

呉須染付桃形団龍文茶碗 銘夏雲

染付花唐草文茶碗 德川美術館

染付雲堂手茶碗（鉢の子） 京都国立博物館

染付雲堂手茶碗 紀三井寺

染付雲堂手茶碗（井筒屋茶碗） 香雪美術館

染付松竹梅図茶碗 香雪美術館

赤絵雲堂手茶碗 大和文華館

古染付筆洗形茶碗

安南筋文茶碗 銘階莫 永青文庫

安南白釉茶碗 逸翁美術館

紅安南草花文茶碗 德川美術館

宋胡録茶碗（滴翠美術館）

島物天目形茶碗

藍絵七宝文筒茶碗（阿蘭陀半筒茶碗）

色絵鳥唐草文茶碗 出光美術館

五彩金欄手茶碗（淀屋金欄手） 三井記念美術館

祥瑞洲浜茶碗

祥瑞洲浜茶碗（滴翠美術館）

捻祥瑞茶碗 銘花山

祥瑞沓茶碗

祥瑞胴締茶碗 五島美術館

餌籠茶碗 静嘉堂文庫美術館

珠光青磁茶碗 銘早苗 逸翁美術館

安南染付花唐草文茶碗 銘童子 根津美術館

安南染付人物文茶碗 狸庵文庫美術館

安南染付壽字茶碗 永青文庫

安南染付蜻蛉文茶碗 銘廿日月 德川美術館

安南染付蜻蛉文茶碗（安南絞手茶碗） 北村美術館

安南絞手茶碗

安南染付茶碗

安南染付蜻蛉文茶碗 銘廿日月 德川美術館

安南染付蜻蛉文茶碗（安南絞手茶碗） 北村美術館

安南絞手茶碗

玳玻屈輪天目 白鶴美術館

祥瑞洲浜茶碗

祥瑞湯呑形茶碗

赤絵鳳凰牡丹唐草文茶碗 香雪美術館

青白磁刻花文茶碗 逸翁銘 一輪 逸翁美術館

古染付野馬野兔茶碗 逸翁美術館

赤絵茶碗（白地紅綠彩花文茶碗） 逸翁美術館

赤絵茶碗（五彩蓮華文呼縫茶碗） 逸翁美術館

逸翁銘 家光公

赤絵馬上杯形茶碗 湯木美術館

紅安南唐草文茶碗 東京国立博物館

第四章  
近現代に  
おける  
唐物茶碗の  
受容

古染付笠絵茶碗 石洞美術館  
古染付竹梅杏文茶碗 狸庵文庫美術館

414 410 406

用語解説  
収録した茶碗を所蔵する美術館ガイド  
主要な参考文献

462 452 446

418

### 中国北方の黒釉碗

——人気を博した北方系の油滴天目

49

### 新安沈船の建盏・天目と

日本に伝世する建盏

61

### 復活の天目：大名道具の代表格の唐物茶碗

198

### 染付雲堂手茶碗——四つの視点

256

### 東南アジアのやきものと茶陶

327

——ペトナム陶器を中心

299

### 安南茶碗いろいろ

327

装訂・レイアウト 鶯草デザイン事務所

### 凡例

- ・本書で取り上げる茶碗は、唐物に分類される天目（曜変・油滴・建盏・白綠天目・玳瑁盞・灰被・黃天目）、白磁、青磁、染付・古染付・祥瑞・絵高麗、赤絵、さらには島物や宋胡錄、安南、阿蘭陀である。
- ・茶碗の選定は、監修者（赤沼多佳・竹内順一・谷晃）による指導のもと、責任編集者（徳留大輔）がおこない、所蔵館ならびに所蔵者より許可された作品を掲載する。
- ・茶碗の名称は、原則として所蔵先と協議のうえ、責任編集者が決定した。
- ・作品情報は、指定、所蔵先名（個人名は省略）、産地国・窯名、製作年代、法量の順で、確定できる内容に限り掲載した。
- ・法量（高さ・口径・高台径・重量）は、原則として執筆担当者が計量したものと表記した。
- ・英文は、作品名、産地国・窯名、製作年代、所蔵館名の順で掲載した。
- ・茶碗の正面は、原則として所蔵先と協議のうえ、執筆担当者が決定した。
- ・掲載図版は、できる限り新規に撮影したが、所蔵先などから提供を受けたものもある。下記の撮影者と写真提供先のうち、頁数を明記していないものはすべて宮野正喜の撮影になる。
- ・茶碗の作品解説等の執筆は、徳留大輔、降矢哲男、前野絵里、山田正樹が担当し、各文末に「」に入れて担当者名を記した。
- ・「伝来」の情報は、直接移動したことが明白であるものは「」、それ以外は「：」と表記した。その他の情報は、わかる限り忠実に掲載した。

### 撮影

宮野 正喜

小笠原 敏孝 (p.292 ~ 295・336 ~ 339・382 ~ 397)  
岡田 愛 (p.18 ~ 21・42 ~ 45)  
小平 忠生 (p.115・116 上・167・168)  
小林 仁 (p.24 下)  
西川 茂 (p.22・23・24 上・86・87・174 ~ 176)  
六田 友弘 (p.88)  
山崎 兼慈 (p.420)  
山崎 信一 (p.114・116 下・117・166・169)

### 写真提供

出光美術館 (p.130 ~ 132・138・139・141・142・209・210・356 ~ 358・422・424・439) / 大阪市立東洋陶磁美術館 (p.421) / 京都国立博物館 (p.54 ~ 56・74 ~ 77・105・106 下・178 ~ 181・228 ~ 230) / サンリツ服部美術館 (p.58 ~ 60) / 相国寺承天閣美術館 (p.82 ~ 85・106 上・107) / 茶道資料館 (p.126 ~ 129) / 枝津美術館 (p.30 ~ 33・202 ~ 204・296 ~ 298) / 藤田美術館 (p.14 ~ 16・46 ~ 48・102 ~ 104) / 潤木美術館 (p.401) / DNP アートコミュニケーションズ Image: TNM Image Archives (p.62 ~ 64・78 ~ 81・98 ~ 101・402 ~ 405) / 個人 (p.256・324 ~ 326)